

## SIMULATION たま 2035 体験会 実施報告書

### <開催目的>

- 作成者に「SIMULATION たま 2035」を体験してもらい、改訂版についての感想や改善点を検討し、さらなる改良を目指す。
- SIMULATION ゲームを初めて体験する参加者には、多摩市のことを知ってもらい興味・関心へとつなげる。

### <実施概要>

事業名	「SIMULATION たま 2035」体験会
開催日時	令和 5 年 4 月 30 日（日）13：30～16：30
場所	関戸公民館大会議室
経緯と内容	<p>■ 体験会実施までの経緯 ■</p> <p>令和 4 年度のわがまち学習講座にて、市の幹部になって政策判断を行う対話型自治体経営シミュレーションゲーム「SIMULATION たま 2030」を、現在の社会や環境の変化に合わせ、受講者市民と一緒に新バージョン「SIMULATION たま 2035」を作成した。令和 5 年 2 月、3 月に実施したわがまち学習講座にて「SIMULATION たま 2035」は、主に下記 3 点に留意してバージョンアップすることを講座内で方針決めした。</p> <p>①ターゲットを次世代のまちづくりを担う中高生とし、選挙イベント等の選択肢を取り入れることによって、中高生に当事者意識と地域への参加意欲を高める内容とする</p> <p>②中高生が分かりやすい文章や表現を心掛ける（事業カードなどの難易度を下げるということではない）</p> <p>③自分事として楽しめる内容にし、自身の興味関心が広がるようにと心掛ける</p> <p>令和 5 年 3 月 27 日の記者会見では、受講者の 10 歳～18 歳までの学生が参加し、4/30 体験会の告知をした。その際、市民が自ら 4/30 体験会のポスターを作ったり、最年少の小学生が市長に手作りの招待状を渡すなど、各々で考え自発的に行動し体験会の PR に努めた。</p> <p>体験会の準備に関しても、令和 4 年度わがまち学習講座の受講者に積極的に参加してもらい、3 課職員と一緒にゲームシートや、資料作りを行った。体験会の 2 週間前には受講者市民 2 名に参加してもらい、試作した「SIMULATION たま 2035」のテストプレイを行い、意見や感想などをもらい最後のブラッシュアップを行った。</p> <p>■ 体験会当日の内容 ■</p> <p>体験会当日は、令和 4 年度のわがまち学習講座で講師を務めた早稲田大学マニフェスト研究所の青木氏 にファシリテーターを務めて頂いた。参加者が 5 人ずつ 6 グループに分かれ、臨場感を持った進行のもと、ゲーム上で起こる非常事態を体現しながら、「SIMULATION たま 2035」を体験した。また、令和 4 年度受講者のうち 2 名が、体験会当日の運営役となり、職員と一緒に進行や、ゲーム内で行われる市長選の候補者となって演説等を行う等、運営を担った。</p> <p>ゲームは 3 ラウンドに分かれており、1 ラウンドにどのような街を目指すのかグループごとに話し合い、街づくりの指針を決めた。ゲームを通じて、投票権を迎える若い世代が地域課題や行政課題を自分事として捉えること目的としたため、1 ラウンドと 2 ラウンドの間には、模擬市</p>

	<p>長選挙を行い、選んだ市長によって、市政や取り組む事業が異なっていくことを体験した。また、グループごとに事業の取捨選択を行うと、政策選択によりまちの変化を得点化する仕組みを取り入れ、グループごとに最初に決めた街づくりの指針と、実際に自分たちが選んだ施策がマッチしているかを目視で確認した。ゲームの終盤では、自分たちが作り上げたそれぞれの街を対象にポスターセッションを行い、どのまちに住みたいか投票を行った。</p> <p>当日は令和4年度わがまち学習講座から引き続き、1人の市民の方が当日の体験会をグラフィックレコーディングとしてまとめ、体験会の振り返りも同時に行った。</p>
ファシリテーター	青木佑一氏（早稲田大学マニフェスト研究所 人材マネジメント部会 事務局次長）

<実施結果>

参加者	<p>市民 27 人</p> <p>グラフィックレコーダー 1 人</p> <p>職員ボランティア 6 人</p> <p>市職員 5 人</p>	<p>市民内訳（講師関係者及び市職員は除く）</p> <p>【年代】 10代：9人 20代：1人 30代：1人</p> <p>40代：12人 50代：3人 60代：1人</p>
-----	--	--

# SIMULATION たま 2035 体験会 アンケート結果

## <体験会概要>

日時：令和5年4月30日（日）

場所：関戸公民館 大会議室

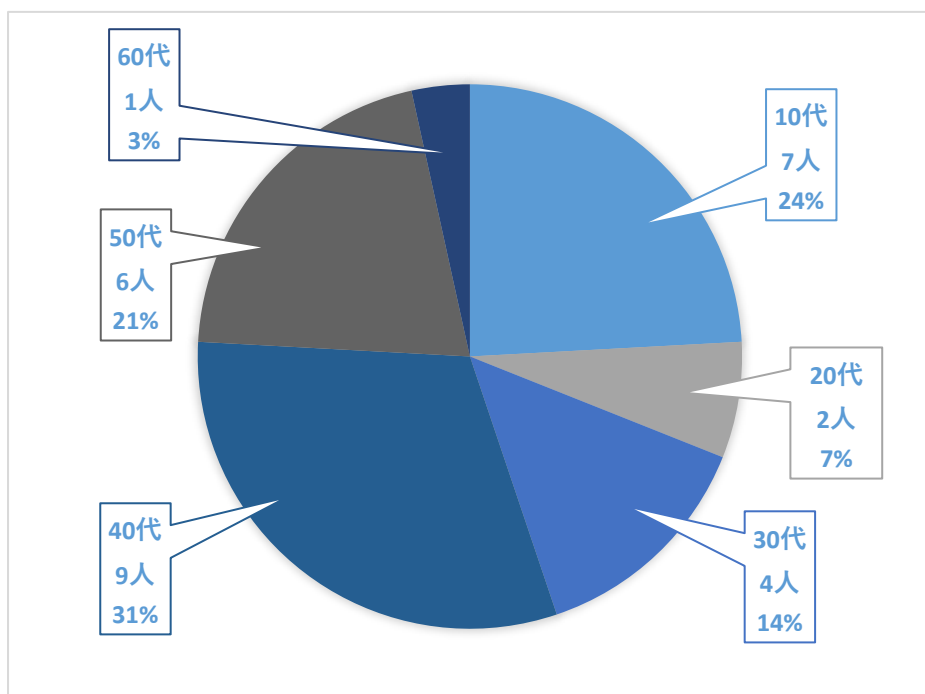
内容：SIMULATION たま 2035 の体験会

参加者：33名

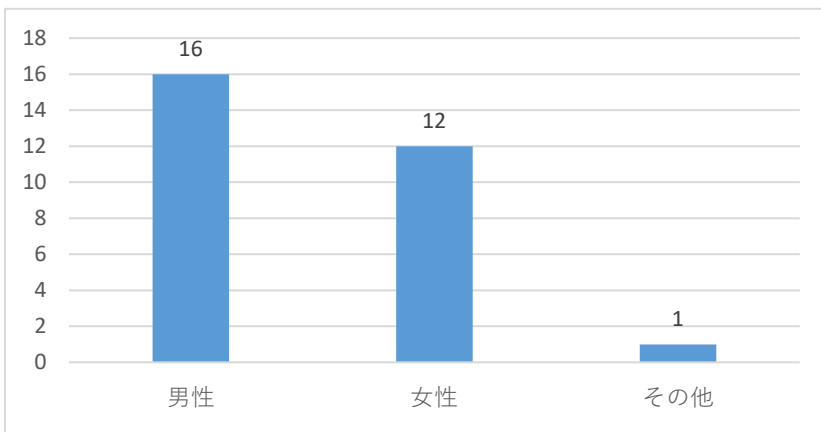
## <回答者>

回答人数：29名

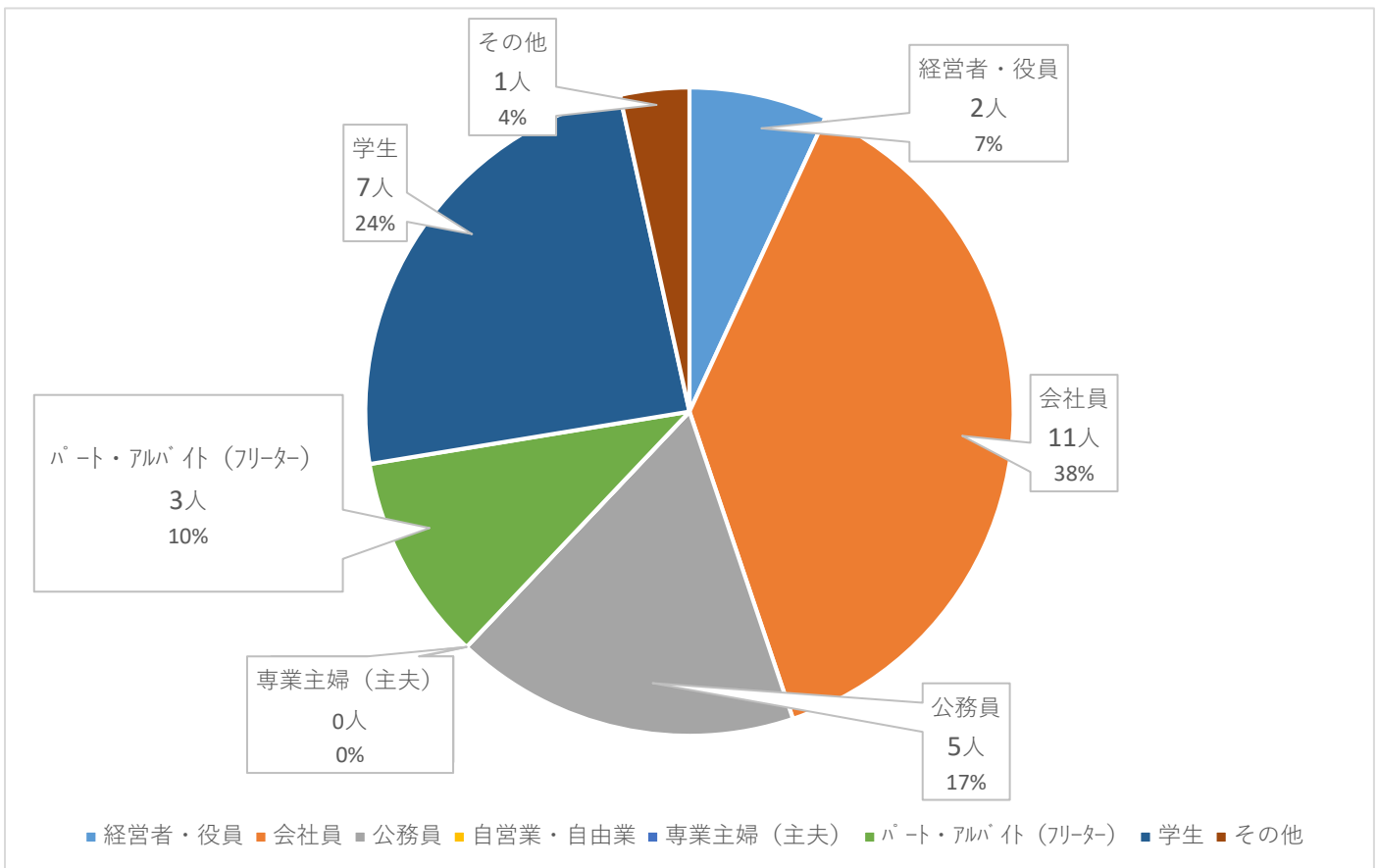
### ①年代



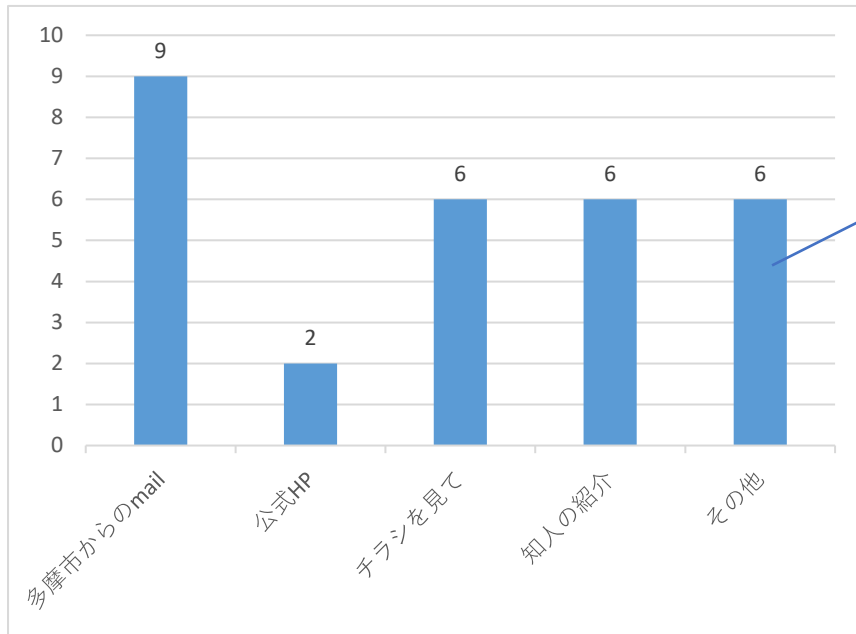
## ②性別



## ③職業



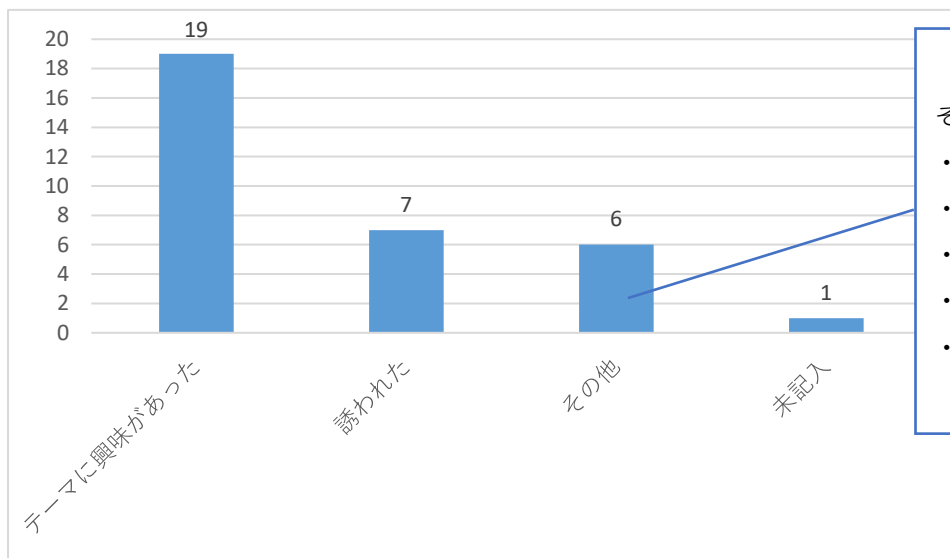
④本日の体験会は何で知ったか



その他の理由：  
 ・たま広報（2人）  
 ・昨年度参加  
 ・家族が講座に参加  
 ・子どもがゲーム企画に参加しての紹介

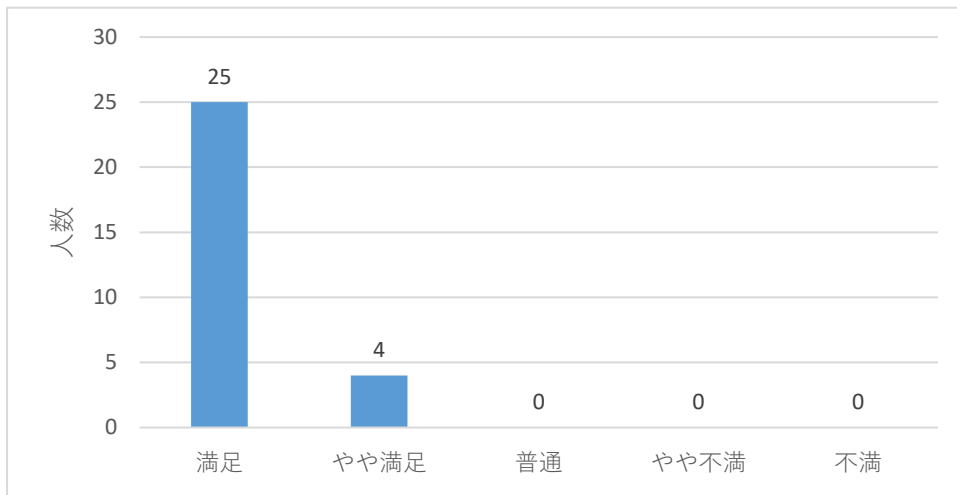
<講座について>

⑤ 受講した動機は何ですか。（複数回答可）



その他の理由：  
 ・ゲームの内容を知りたかった  
 ・どのようなものか見たかった  
 ・アイデアを話したかった  
 ・2030 からどう変化したか楽しみであった  
 ・暇だった

## ⑥ 体験会の満足度はいかがでしたか



### 上記を選んだ理由（原文掲載）

#### 【満足】

- ・体験することができ気付きをあたえられたから
- ・いつもは市民の視点からしか見たことがなかったが、市議会の視点で対話できたのがとても貴重な経験だったから
- ・色々な世代で考え、話し合えた貴重な体験になった
- ・ゲームとはいえ、皆が真剣で、多摩がもっと素敵なまちになっていったらと思う
- ・市政を理解できる
- ・グループで楽しくできた
- ・テーマに向けて交流し、話すことが楽しかったから
- ・今回も新しい考えや発見ができてよかった
- ・面白かった
- ・色々な人と交流できてよかった

#### 【やや満足】

- ・選挙体験ができたり、万全な準備をしていただいた

## ⑦ 体験会全体の感想や意見（原文掲載）

- ・子供の参加と発表はすごくよかった。
- ・現状の問題と未来へのわくわくを両立させることの難しさと気付きを感じた。
- ・様々な世代の方と交流ができ、色々な意見が聞けて充実した時間だった。
- ・選挙やストーリーなどがとても面白かった。少し自分の生活との関連を結び付けて考えるのが難しかった。他人の意見を聞けてよかった。
- ・市役所職員の研修だけでなく、市民参加を働きかけるという企画が素晴らしいと思った。
- ・色々な世代が参加しているところがよかった。中学校でもやっていいかもと思います。
- ・色々な世代で考え、話し合えた貴重な体験になった。
- ・色々な年代の人と交流できてよかった。

- このようなワークショップがあることを全く知らなかった、ありがとうございました。
- 多世代の交流がとても貴重で有意義であった。
- 飽きずに話し合いに没頭できました。すごく楽しかったです。
- SIM も楽しかったですが、参加されている皆さん話していて、気持ちが良い方ばかりで多摩市の未来は明るいと思いました。
- 全く初めて参加する人には少し説明が足りなかったかも（付箋を使う、書き込み OK など）。多摩市は市民がつくるものですね。
- 皆さんと楽しくできました。前向きなお話しが聞けてうれしいです。
- 内容がとても充実していて、さまざまな考え方を知ることができて楽しかった。
- 参加できてとても良かったです、このような体験会がある多摩市がさらに好きになりました。もっとアピールしてほしい。
- ゲームのベースが完成したので、複数の場所で開催することで、もっと多くの市民が参加できるようになると思います。
- SIM2035 の完成度が高くて驚きました。とても楽しかったです。
- 「事業を削る」ことがメインだったので、可能性を探る話し合いになりにくかった面が少々気になったが、ゲームそのものは大掛かりで楽しみながら 3R ができました。
- 市内のいろんな方と話せたこと、市の方と話せたことがよい体験になった。
- 笑えるオープニングなど工夫がこらされていて面白かった。結果が目で見えるのも、やりがいを感じられ良かった。
- ゲームを作るのは難しい。だけど他人と会話するのは新しい発見があってよかった。
- 色々な世代の方との交流や実際のまち作りを考えるきっかけにもなりました。
- すばらしいゲームでしたが、もっともっとグレードアップできると思いました。
- もし可能でしたらこのゲームを地域福祉推進委員会で活用できないかと考えています。改めてご相談させていただきたいです。

⑧ 今後どのような講座を希望するか。（原文掲載）

- 様々な年齢の方が集まるワークショップ
- まちづくりに関するもの、交通をテーマとした講座
- 楽しみながら地域や社会の問題を考える事のできるイベントがあったらうれしい。若者の政治についてのイベントがあったらうれしい
- 多摩市の自然環境をテーマにしたバージョンなどでも
- すでに存在している問題の解決
- 誰もが初めて?のような取り組みやすい、今回のような少数回の講座
- まちづくりに関する講座、市民活動を活性化するような講座
- 市の街づくりやコミュニティ作りに関する意見交換会があれば是非参加したい
- 介護福祉など

⑨ 今後、市からワークショップや講座の案内を希望するか。

はい 20人  
 いいえ 4人  
 未記入 5人